

7. 伊勢湾再生に向けて各機関が実施する施策

伊勢湾再生に向けて各機関が実施する具体的な施策を次のとおりとりまとめた。

- ①主な施策（各機関の重点的・継続的施策、特徴的・先進的施策）
- ②多様な主体による協働・連携施策事例
- ③機関別施策一覧

(1)主な施策（重点的・継続的施策、特徴的・先進的施策）

「森・川（流域全体）・海及び人」の各区分での取り組みのうち、各機関が実施する主な施策（重点的・継続的施策、特徴的・先進的施策）は次のとおりである。

なお、ここで示す主な施策は本行動計画策定時のものであり、今後必要に応じて見直す。

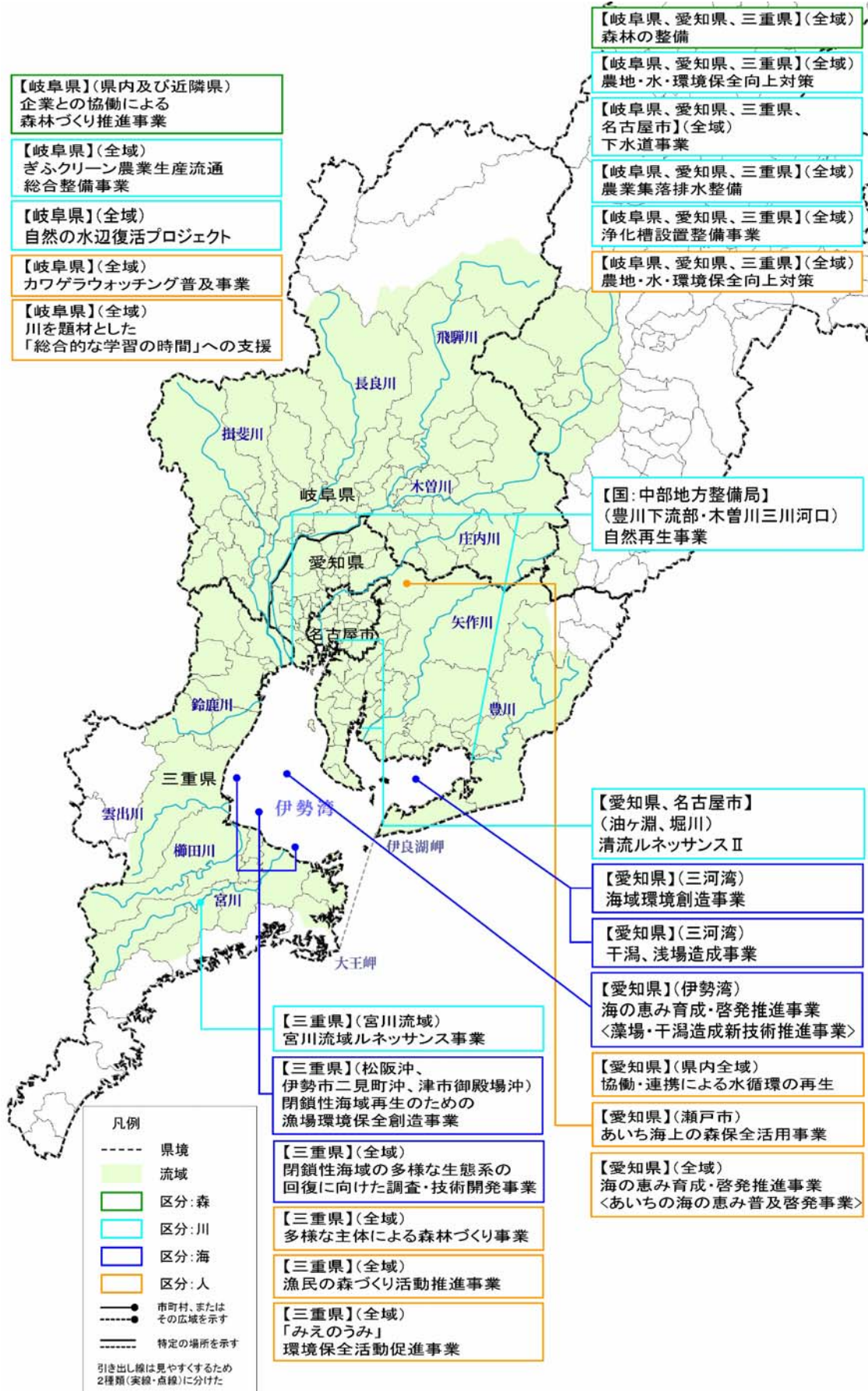


図 18 各機関が実施する主な施策の位置図

表 5 各機関が実施する主な施策

区分	施策名	実施主体	内容
森	森林の整備	岐阜県 愛知県 三重県	・ 森林の公益的機能の高度発揮をはかるため、植栽、下刈、間伐等の森林整備を促進する
	企業との協働による森林づくり推進事業	岐阜県	・ 県内及び近隣県の企業を対象に森づくり説明会等を開催し、「企業による森林づくり」を推進することで県民協働による森づくり活動を推進する
川 流域 全体	農地・水・環境保全向上対策	岐阜県 愛知県 三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地、農業用施設及び地域環境の保全向上活動と一体的に、農薬及び化学肥料を大幅に低減するなど、地域でまとまって環境負荷を低減する先進的な営農活動を支援する ・ 農地、用排水路等農業用施設及び地域環境の保全向上に資する共同活動を支援する
	下水道事業	岐阜県 愛知県 三重県 名古屋市	・ 下水道の普及・促進、高度処理の促進、合流式下水道の改善を行う
	農業集落排水整備	岐阜県 愛知県 三重県	・ 農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集落排水施設を整備する
	浄化槽設置整備事業	岐阜県 愛知県 三重県	・ 快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質の維持・改善をはかるため、市町村が実施する浄化槽の設置に対して助成するとともに、個人の設置に対し補助を行う市町村に対し助成する
	清流ルネッサンスⅡ	愛知県 碧南市 安城市 西尾市 高浜市他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油ヶ淵の水質改善を図るため、県、油ヶ淵周辺4市とNPOが連携して河川事業（浚渫・覆砂等）、下水道事業、その他施策を実施する ・ あわせて、流域住民・県・市の協働・連携による水環境モニタリングを実施する
		名古屋市	・ 堀川の水環境改善を行うため、河川事業（浚渫・河道内のゴミの除去等）、下水道事業（合流式下水道の改善等）、その他施策を実施する

区分	施策名	実施主体	内容
川 流域 全体	ぎふクリーン農業 生産流通総合整備事業	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> 県産農産物の安全・安心を確保するとともに、県土の環境保全をめざすため、化学肥料・化学農薬を30～50%以上削減するぎふクリーン農業の推進に必要な機械・施設等の整備に対し支援する
	自然の水辺 復活プロジェクト	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県下の自然環境の保全・復元・創出を効果的に進めるため、「産学民官の協働」、「モノづくり」、「人づくり」、「現場での研究」の4つの施策を連携させ、河川を主とした県下の自然共生をすすめる
	宮川流域ルネッサンス 事業	三重県	<ul style="list-style-type: none"> 宮川流域において、『清流や森林、溪谷、干潟などの豊かな自然の保全・再生』などを基本理念に掲げ、住民と行政が協働の精神のもと、互いの役割を明確にし、『宮川流域エコミュージアム』や『守ろう清流！宮川流域いっせいチェック』など、多様な事業を展開している。
	自然再生事業	国土交通省	<p>(豊川下流部、木曾川三川河口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨシ原・砂州を再生し、河川の生物環境の回復を図る
海	海の恵み育成・啓発 推進事業 ＜藻場・干潟造成新技術推 進事業＞	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな水産資源や健全な生態系など海の恵みを育む藻場や干潟の保全・再生のため、藻場造成新技術の海域における事業規模での実証及び藻場機能の数値化並びに人工干潟造成材の適性評価を行う
	海域環境創造事業	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> 覆砂を行うことにより、底泥からの栄養塩の溶出を封じ込める
	干潟、浅場造成事業	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> 漁場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟、浅場を造成する
	閉鎖性海域再生のための 漁場環境保全創造事業	三重県	<ul style="list-style-type: none"> 干潟、浅場の造成及び再生を行う（松阪沖） アマモ場の造成を行う（伊勢市二見町沖） 干潟・藻場等の調査、順応的管理等を実施する（松阪沖、伊勢市二見町沖、津市御殿場沖）

区分	施策名	実施主体	内容
	閉鎖性海域の多様な生態系の回復に向けた調査・技術開発事業	三重県	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の回復（海の生物の種類・量の増加）を促進することが必要であるため、干潟・藻場の回復再生技術や赤潮の発生防止技術の開発及び底泥の堆積過程の解明等について、産学官の連携により取り組む
人	協働・連携による水循環の再生	愛知県内の 県民 民間団体 事業者 行政	<ul style="list-style-type: none"> 「あいち水循環再生基本構想」に基づき、地域の水循環再生の推進に関する事項等について協議し、活動を行う組織として「水循環再生地域協議会」を設立し、水に関わる全ての主体が、同じ目標に向かい手を携えて取り組む
	農地・水・環境保全向上対策	岐阜県 愛知県 三重県	<ul style="list-style-type: none"> 農地、農業用施設及び地域環境の保全向上活動と一体的に、農薬及び化学肥料を大幅に低減するなど、地域でまとまって環境負荷を低減する先進的な営農活動を支援する 農地、用排水路等農業用施設及び地域環境の保全向上に資する共同活動を支援する
	カワゲラウォッチング普及事業	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> カワゲラウォッチング※を多くの小中学生等にも実施してもらい、河川に対する環境保全意識の高揚を図る <p>※水に親しみながらできる河川水質調査（水生生物による水質調査）</p>
	川を題材とした「総合的な学習の時間」への支援	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> 次代を担う子供たちに川を題材とした環境、川の役割を知ってもらう 未来の地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を河川管理者と共に考えるパートナーを育むことを目的とする
	あいち海上の森保全活用事業	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> 「海上の森保全活用計画」に基づき、「海上の森」を愛知万博記念の森として将来にわたり保全するとともに、人と自然の関わりのあり方を探求する場として、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点づくりを進めるとともに、人と自然の共生を推進する指導者等の人材を育成する

区分	施策名	実施主体	内容
人	海の恵み育成・啓発 推進事業 (あいちの海の恵み普及 啓発事業)	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> 海の恵みや大切さに関する県民の理解促進を図るため、海の恵みや海の大切さを紹介する企画展及び漁業現場を体感する取組を行う 本県水産物の認知度を向上する事業計画を募集し、計画提案者に委託して事業を実施する
	多様な主体による 森林づくり事業	三重県	<ul style="list-style-type: none"> 森林づくりへの多様な主体の参画を促進するため、「企業の森」の取組をさらに進めるとともに、県民、NPO等の活動の場の確保や情報提供などの支援を行う
	漁民の森づくり活動 推進事業	三重県	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな森林が漁場を保全していることから、漁業者が森林整備の重要性を理解し、自らが行う森林の再生・植栽事業への取組の輪を広げるため、フィールド情報提供や資材費の支援を行う
	「みえのうみ」環境保全活 動促進事業	三重県	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな森林が漁場を保全していることから、漁業者が森林整備の重要性を理解し、自らが行う森林の再生・植栽事業への取組の輪を広げるため、フィールド情報提供や資材費の支援を行う 「里海」伊勢湾を再生し、豊かな海の恵みを取り戻すために、沿岸流域に関する情報収集・発信を強化する 多様な主体と連携した流域の健康診断および保全策を実施する 地域で活動の核として行動できる人材育成や多様な主体が参加する流域ネットワークづくりを行う県民が主体となった海の環境保全に向けた取組を促進する

(2)多様な主体による協働・連携施策事例

地域または流域の単位で伊勢湾再生に向けた多様な主体による協働・連携施策事例は次のとおりである。

なお、ここで示す協働・連携事例は本行動計画策定時のものであり、今後必要に応じて見直す。

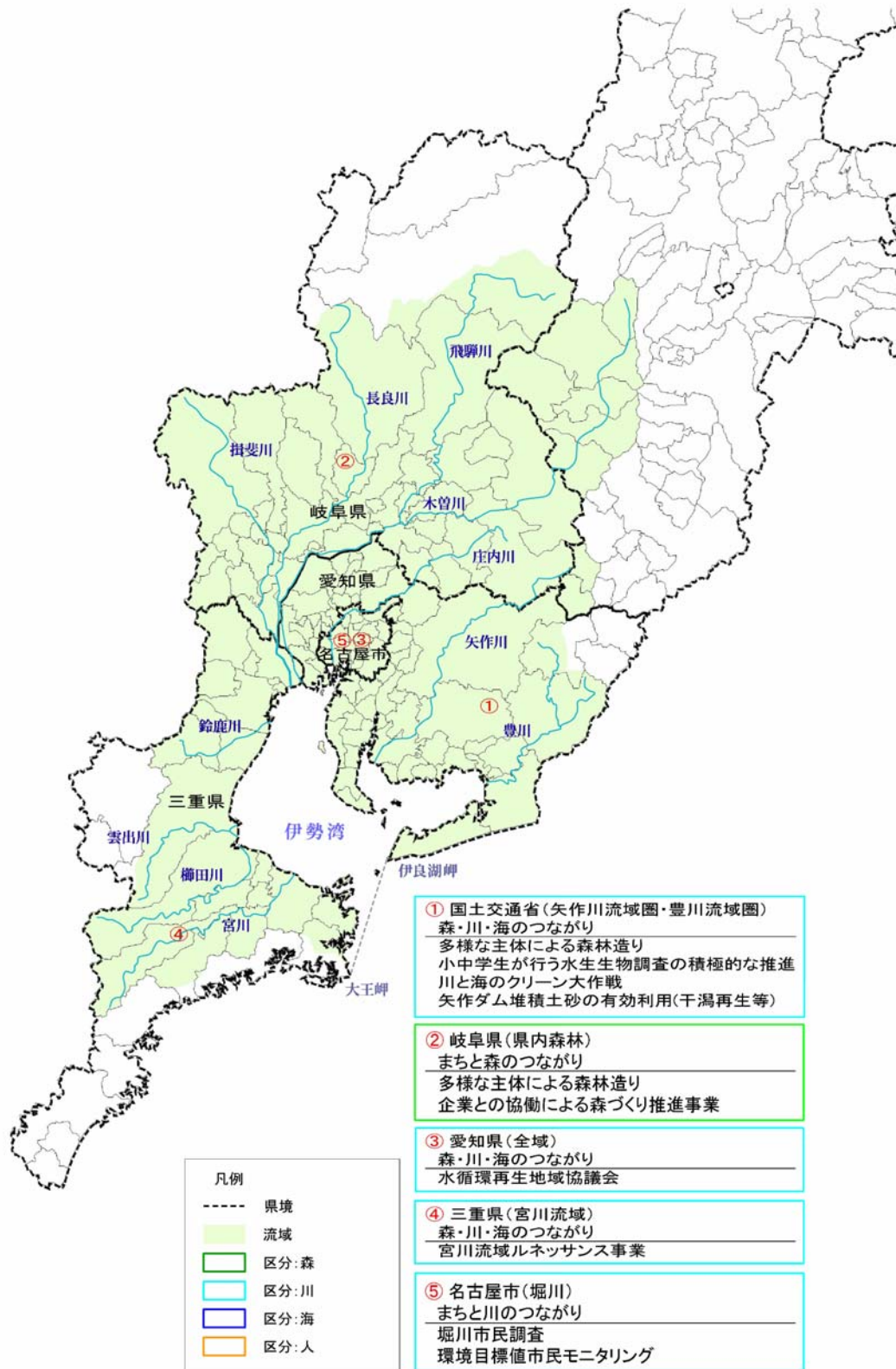



図 19 多様な主体による協働・連携施策事例の位置図





協働・連携事例	森・川・海のつながり
場所	矢作川流域圏・豊川流域圏
施策名等	三河湾流域圏会議（仮称）
施策内容 （連携主体・連携内容など）	<ul style="list-style-type: none"> 三河湾流域圏の「森・川・海」について、“健全な水・物質循環の構築”、“多様な生態系の回復”、“生活空間での憩い・安らぎ空間の拡充”を目指して、再生行動計画を産官学民の連携（一体化意識）により推進する。 <p>【連携主体】</p> <p><行政> 国、県、市町（予定）</p> <p><市民等（予定）></p> <ul style="list-style-type: none"> 産業（企業、商工会議所等） 学識経験者 NPO法人等 <p>【取り組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政の各機関による情報共有と市民との協働（小中学生が行う水生生物調査の積極的な推進、川と海とのクリーン大作戦等） 多様な主体による森林造り 「三河湾浄化の日」（7月第4水曜日）と「三河湾浄化週間」（この日から1週間）による啓発活動の拡充 矢作ダムの堆積土砂の有効利用（干潟再生等）を検討 

協働・連携事例	まちと森のつながり
場所	岐阜県内森林
施策名等	多様な主体による森林づくり 企業との協働による森づくり推進事業
施策内容 (連携主体・連携内容など)	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内及び近隣の企業を対象に森づくり説明会(プレゼンテーション・個別説明)を開催し、「企業による森づくり」を促進する。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県内及び下流域の愛知県等の企業を対象とした「森づくり」説明会の開催 ・企業に対する事業候補地の紹介、現地説明会 <p>【期待する効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業が森づくりに参加することで、県民協働の森づくり活動の裾野の拡大を図る。 ・企業の活動をチラシや県HP等で普及啓発することで、環境保全に対する県民の意識向上、自主的行動を促進する。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森づくり活動を実施する企業を県HPで紹介するとともに、顕著な活動をしている企業については、緑化功労者表彰等で表彰する。 ・「企業の森」のフィールド情報の充実を図り、「ぎふ森林づくりサポートセンター」との連携を強化する。

協働・連携事例	森・川・海のつながり
場所	愛知県内
施策名等	水循環再生地域協議会
施策内容 (連携主体・連携内容など)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年 3 月に策定した「あいち水循環再生基本構想」に基づき、地域の水循環再生の推進に関する事項等について協議し、活動を行う組織として「水循環再生地域協議会」を設立し、水に関わる全ての主体が、同じ目標に向かい手を携えて取り組む。 <p>【水循環再生地域協議会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林から農地、市街地、さらに海までの流域全体を視野に入れ、健全な水循環を再生する取組をするための組織であること。 森林組合、農業協同組合、漁業協同組合、商工会議所、土地改良区、民間団体、国、県、市町村など幅広い関係者が、直接意見交換を行う場であること。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 尾張地域：平成 19 年 3 月設立予定 ○ 西三河地域：平成 19 年 1 月 19 日設立 ○ 東三河地域：平成 19 年 1 月 26 日設立

協働・連携事例	森・川・海のつながり
場所	三重県宮川流域（伊勢市、多気町、大台町、玉城町、度会町、大紀町）
施策名等	宮川流域ルネッサンス事業
施策内容 （連携主体・連携内容など）	<p>宮川流域ルネッサンス事業は、三重県の流域圏づくりのモデル事業として平成9年度から始まった。</p> <p>平成10年度策定の宮川流域ルネッサンスビジョンで、『人と自然との共生』『上下流の交流・連携』『住民・企業・行政のパートナーシップ（協働）』という流域宣言を行うとともに、『清流や森林、溪谷、干潟などの豊かな自然の保全・再生』『豊かで清らかな川の流を蘇らせる健全な水環境の構築』『川とともに育まれてきた歴史・文化の継承・発展』『自然環境と調和した魅力ある流域づくり』を基本理念に掲げ、住民と行政が協働の精神のもと様々な取り組みを進めてきている。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① エコミュージアムという考え方のもと、約360人の宮川流域案内人がボランティアで流域に関する企画行事を自主的に企画実施し、多くの参加者を得ているが、その行事を行政が広報を中心に応援するなど、互いの役割を明確にしながら取り組みを進めている。 ② 流域の住民約80名が水環境のいっせいチェックを毎月ボランティアで実施し、その結果をホームページで公表するとともに、月1回ワークショップを開催し意見交換を行っている。 ③ 植林活動や清掃活動を住民と行政がともに取り組み、流域全体への広がりが出てきている。こうした取り組みの結果、上流から下流まで流域住民の間で、山や川を大切にという意識の共有化が進んできている。 ④ 流域住民と行政が流域の課題について話し合い、行動へ移すための意見交換の場である「円卓会議」を定期的で開催し、BDF（バイオディーゼル燃料）の取り組みなど住民主体の具体的な動きが生まれ始めている。 <p>などである。</p>



協働・連携事例	まちと川のつながり
場所	堀川（名古屋市）
施策名等	堀川市民調査 環境目標値市民モニタリング
施策内容 （連携主体・連携内容など）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民主体で結成された調査隊が、市民の視線で、水質、におい等の調査を行い、浄化施策の効果の確認、評価を行う。 ・調査活動を通じて水環境に対する市民の意識向上を図る。 
	   <p>（連携して行政側が実施する浄化施策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清流ルネッサンスⅡ ・合流式下水道の改善 ・高度処理施設の導入 ・なごや水の環復活プランの推進